

12月のけんこう

12月1日は世界エイズデーです

世界レベルでのエイズまん延防止と患者、感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的として、12月1日が世界エイズデーと定められています。

- HIV(エイズの原因になるウイルス)の感染経路は限られているので、HIV感染は防げます。
- 予防のためには、感染経路をきちんと理解すること、どのような行動が大切かを理解することが必要です。
- 自分のこととして、大切な相手のこととして、この病気を考えることが予防につながります。

保健所ではエイズなど性感染症および肝炎の検査を無料、匿名で行っています。

検査項目	日時	申込方法
HIV抗体即日検査	毎週木曜日 午前9時~10時受け付け	予約制 (電話で)
性器クラミジア抗体梅毒検査 (HIV抗体検査と併せて)		
肝炎検査		
HIV夜間検査	毎月第3木曜日 午後5時~7時受け付け	予約なし

☎ 土浦保健所保健指導課(☎821-5516)
エイズ相談専用(☎826-0606)



献血のお知らせ

とき/12月16日(金) 午前10時~午後1時、午後2時~4時
ところ/うらら広場(土浦駅西口)

麻しん・風しん予防接種について

麻しん・風しん混合ワクチンの予防接種対象者でまだ接種を受けていない方は、主治医と相談のうえ、忘れずに受けましょう。

対象者	
第1期	1歳~2歳未満
第2期	小学校就学前の1年間 (平成17年4月2日から18年4月1日生まれの方)
※ 第3期	中学1年生 (平成10年4月2日から11年4月1日生まれの方)
第4期	高校3年生に相当する年齢 (平成5年4月2日から6年4月1日生まれの方)
	高校2年生に相当する年齢で修学旅行などで海外へ行く予定のある方 (平成6年4月2日から7年4月1日生まれの方)

接種方法/協力医療機関で個別接種(1回)

※第3期の市立中学校の集団接種を受けられなかった方は個別接種で受けてください

接種期間/第2・3・4期対象の方は、平成24年3月31日まで(個別接種対象者で予診票を紛失された方は、母子健康手帳を持参し、健康増進課で再交付を受けてください)

費用/無料

☎ 健康増進課(土浦保健センター ☎826-3471)

健康教室

PSA検査について

土浦市医師会

萩原 明(萩原同仁クリニック)

近年欧米並みに罹患率が高まりつつある前立腺がんですが、PSA検査は前立腺がんを判断する最初の基準として非常に有効です。血液検査だけで測定できるため、最近では集団検診でも広く用いられています。ちなみにPSAとは健康男性の前立腺から分泌されるタンパク質で、通常は血液中に流入する量はごくわずかです。しかし、前立腺の疾患などによって浸出量が増加するために検査値が上昇します。PSA値が高ければ高いほど、前立腺がんの確率も高くなります。年齢にもよりますが、約4.0ng/ml程度からがんの疑いが強くなります。4.1~10ng/mlはグレーゾーンと呼ばれ、がんの危険性は20~30%、さらに10.1ng/ml以上の方の約50%にはがんが存在すると言われています。

ただし、PSA値の異常が必ずしも前立腺がんの存在を示すとは限りません。前立腺肥大症、前立腺炎、射精直後や激しい運動の後にも異常高値を示すことが知られています。それ故、あくまで前立腺がんを発見するきっかけとなる一つの基準と考えるべきです。

前立腺がんは中年以降に多い病気です。積極的に定期健診でPSA検査を受けるべき年齢は50歳が一つの目安となります。しかしながら、ある程度の遺伝性があるとの報告もありますので、家族や親族に前立腺がんになった人がいる場合には、40歳以降には年に一回程度のPSA検査は受けた方が良いでしょう。

もしも、PSA検査に異常がみられた場合、本当にがんがあるのか?また、がんが存在したとしても、その悪性度や進行の程度まではPSA値のみの結果では判りません。

まずは泌尿器科を受診して、肛門から指を入れる直腸診で前立腺の状態を調べてもらうことが大切です。そして、超音波やMRIなどの検査で、がんが疑われれば、組織片を調べる前立腺生検で確定診断をつける必要があります。

前立腺がんに限らず、すべての疾患に共通することですが、まずは定期健診を受け、病気の早期発見に努めることが重要です。